

薄井憲二バレエ・コレクション常設展

vol. 65

哀悼 薄井憲二氏

展示期間 /

2017年12月30日(土) ~ 2018年2月11日(日)

企画・構成 /

関典子(薄井憲二バレエ・コレクション・キュレーター)

2017年12月24日クリスマス・イヴの朝、薄井憲二氏は悪性リンパ腫のため、ご逝去されました。(享年93歳)

1924年3月30日、東京生まれ、晩年は京都在住。日本バレエ界の草分けの一人である東勇作(1910~1971)に師事し、16歳でバレエダンサーとして初舞台を踏まれました。東京大学在学中に出征され、戦後4年間のシベリア抑留を経て帰国。即座にバレエ界に復帰され、数々の舞台で主演を務められた他、振付家・教育者として、日本のバレエ界を牽引し続けて来られました。

日本バレエ協会会長、ポリショイ・バレエ・アカデミー名誉教授、世界三大国際バレエコンクール(ヴァルナ、モスクワ、ジャクソン)などの審査員を歴任。紺綬褒章受章、橘秋子賞、蘆原英了賞、兵庫県功労賞、兵庫県文化賞など受賞多数。2016年には、ロシアの舞踊誌が主宰する「踊りの魂賞」(ロシア・バレエ振興特別賞)を、ロシア出身者以外で初めて受賞されました。

研究・評論の分野でも活躍され、著書に『バレエ千一夜』(新書館1993)、『バレエ 誕生から現代までの歴史』(音楽之友社1998)など多数。世界的なバレエ資料収集家としても知られ、1930年代から集められた膨大な資料は、2006年、ここ、兵庫県立芸術文化センターに寄贈され、「薄井憲二バレエ・コレクション」として、世界的でも有数の規模を誇っております。

深い感謝と哀悼の意を込め、ここに数多のコレクションの中から、特に薄井憲二氏にゆかりの深い資料と、在りし日の出演番組映像の一部を、ご紹介いたします。

出展リスト

- ◆ 舞台写真 『ロミオとジュリエット』『フィンランディア』『ドン・キホーテ』(1950年代) 『春の祭典』(2005年)
- ◆ 『踊りの魂賞』記念バッジ(ロシア 2016年)
- ◆ 集合写真(内田道生・鈴木滝夫・薄井憲二・東勇作 1940年代)
- ◆ 薄井憲二氏から恩師・東勇作氏への葉書(1945年)
- ◆ 薄井憲二著『バレエ千一夜』新書館 1993年
- ◆ 世界三大バレエコンクール審査員証
 1. ヴァルナ国際バレエコンクール(第17回 ロシア 1996年)
 2. モスクワ国際バレエコンクール(第10回 ロシア 2005年)
 3. ジャクソン国際バレエコンクール(アメリカ 2002年)
- ◆ 薄井憲二氏から贈られた真珠の首飾りと手紙(キュレーター関典子宛)(個人蔵 2015年)
- ◆ 出演番組映像(2014~2016)
 1. 『草刈民代 日本バレエの母を求めて~エリアナ・パヴロバの波乱の生涯と謎~』BS朝日 2014年6月29日
 2. 『東勇作と牧神の午後』ことりTV せんだいメディアテーク 2015年9月
 3. 『日本バレエ界のレジェンドが語る~薄井憲二バレエ・コレクション特別展:兵庫県公館~』サンテレビ県民情報番組「ひょうごワイワイ」2016年6月12・13日
 4. 『薄井憲二 シベリア抑留~華麗なバレエの陰に~』毎日新聞Web「<ストーリー> 華麗なる人生の陰に~シベリア抑留日本人~」2016年10月9日



兵庫県立芸術文化センター

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町 2-22

tel: 0798-68-0223 fax: 0798-68-0212

※ 禁無断転載・複製・引用 ※

